

堺ジャーナル

発行所/株式会社堺ジャーナル

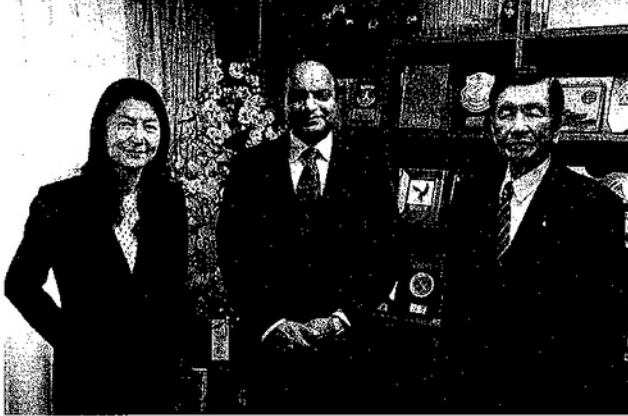
代表者 加藤 均
編集責任者 永吉広次

本社/堺市堺区戎之町西1丁1-30 加藤均総合ビル2F ☎072-221-0001
http://www.sakai-journal.co.jp email info1@sakai-journal.co.jp
在堺記者クラブ/堺市堺区南瓦町3-1 堺市役所内 ☎072-233-1101(内7995)
(郵便振替口座) 大阪 00900-2-92651

認定特定非営利活動法人 日越堺友好協会

ベトナムに関すること
何でもご相談下さい

072-221-0001
http://j-vfas.org/



B.シャム総領事(中央)と柳田紀美子氏(左)、
加藤均理事長(右)

在大阪・神戸インド総領事が堺を訪問 アフターコロナでの国際交流に向けて

3月30日、在大阪・神戸インド総領事館のB.シャム総領事は、特定非営利活動法人日越堺友好協会の加藤均氏を訪問した。8月に堺市役所内において開催予定の「インド独立75周年記念写真展」(仮)に関する話し合いのほか、アフターコロナを見据えた日印の交流事業などについて協

議を行った。

B.シャム総領事は「いつも日印の交流事業促進にご協力いただきありがとうございます。今年から2023年にかけては、インド独立75周年であると同時に、2022年は日印国交樹立70周年記念の年でもあります。コロナ禍において困難な部分が多いです

が、今後はこの二つを融合したイベントを開催していきたいと考えています。まずは、今年8月の堺市役所において「インド独立75周年記念写真展」(仮)の開催が予定されています。現在はイベントと会社との打ち合わせを重ね、独立から憲法制定、コロナ社会までの歴史を辿り、インド独立のストーリーを感じていただけるようなものを企画しています」と述べた。

これに対して加藤均氏は「インド独立75周年記念おめでとうございます。今後も日印の交流事業は是非続けていきたいと考えています。堺には145校の小中、特別支援学校がありましたが、インドの子どもたちとの絵画交流などはいかがでしょうか。コロナの勢いは未だ衰えません。文化を止めないためにもできる限りの協力をいたします」と述べ、文化交流促進につ



千代松泉佐野市長(左)を表敬訪問した

あれば現実的であり素晴らしいと思います。日印の文化交流促進のためにも是非成功させてください」と協力姿勢を示した。

泉佐野市長を表敬訪問

4月16日、在大阪・神戸インド総領事館のB.シャム総領事は特定非営利活動法人日越堺友好協会の加藤均理事長とともに泉佐野市を訪れ、千代松大耕市長を表敬

訪問した。会談の中で、経済文化交流事業などについて意見交換が行われた。シャム総領事は「企業間の交流など経済関連の連携を」と協力を求め、千代松市長は「良好な友好関係を築き、お互いが発展できるよう取り組んでいきたい」と応えた。加藤均理事長は泉佐野市の特別顧問を務めており、国際交流事業などにおいて協力を続けている。

インド舞踊や 古典音楽が再び堺に

同席したインド舞踊家の柳田紀美子氏との会談では、11月に堺で開催予定のインド古典音楽及び舞踊イベントに対する意見交換が行われた。

B.シャム総領事は「コロナの影響により、インドから舞踊家や音楽家を招待することは非常に困難です。しかし、日本国内のアーティストによるイベントで